# 元との戦いと幕府のゆらぎ

元との戦いのあと、幕府と御家人の関係はどう変わったか

**元が従うよう求める**
元（モンゴル）が
日本に使いを送る

→

**幕府が断る**
執権 北条時宗が
要求を断る

→

**元が攻めてくる**
1274年・1281年
九州北部に上陸しようとする

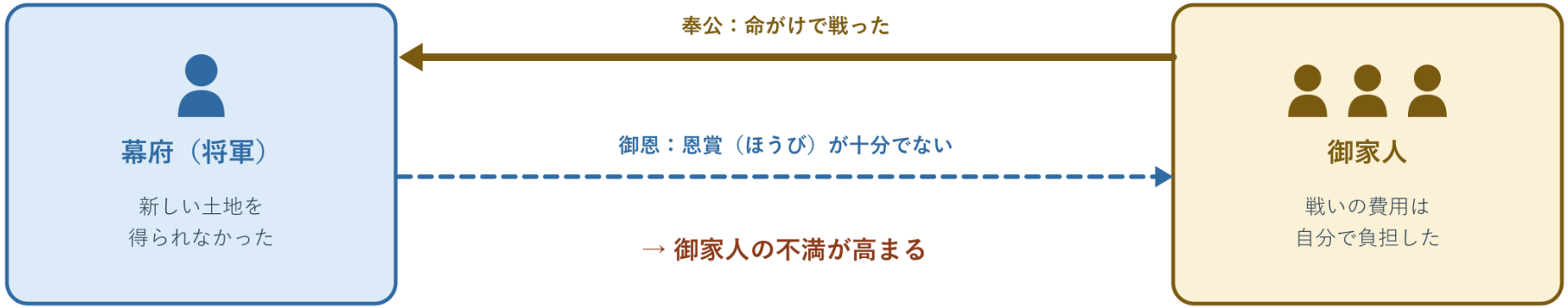
→

**御家人が戦う**
九州の御家人を中心に
全国の武士が守る。
石の防塁を築く

→

**元軍が引き上げる**
暴風雨などもあり、
元軍は退く

## 戦いのあとに起きたこと




御恩と奉公の関係がくずれ、幕府の力がゆらいでいく。
やがて鎌倉幕府はほろびる（1333年）。

人物は役割を示す記号で、特定の人の姿ではない。戦いの場面の絵は描いていない。